ホームページに掲載する内容

当院産婦人科にて子宮頸癌ワクチン（HPV ワクチン）を接種された方へ

「子宮頸癌ワクチン接種の問題点の検討」についての説明

子宮頸癌予防ワクチンであるHPVワクチンが本邦でも導入され、12歳から14歳において公費補助制度が導入され、その普及が進められていますが、一方15歳以上のキャッチアップ接種は任意接種とされ、その普及が進んでいません。当院では積極的にHPVワクチン接種を行っており、大学病院としては本邦でも有数の症例数を有しています。キャッチアップ接種における問題点を把握することは今後のワクチン接種普及にとって重要です。
研究テーマは、「子宮頸癌ワクチン接種の問題点の検討」です。本研究では、当院産婦人科で過去3年間に施行したHPVワクチン接種を行った皆さんを対象にワクチン接種の施行状況について診療録をもとに後方視的に検討を行います。今回の研究においては、倫理指針（厚生労働省疫学研究の指針）を遵守し、個人情報が漏れないよう、個人情報を厳重に管理します。また、本研究の目的以外に本研究で得られたデータを使用しません。本研究は川崎医科大学産婦人科教室研究費によって行います。私たちの教室ではMSD株式会社およびグラクソ・スミスクライン株式会社から研究助成を受けていますが、研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じることはございません。本研究における利益相反はこれ以外にはありません。研究成果は学会や論文として発表する予定ですが、個人情報が公表されることは決してありません。個人が判別できない状況で研究を行いますので、研究結果を、個別にお知らせすることはできません。上記の研究において、ご自身の情報が利用されることについて、同意いただけない場合には、お手数ですが、下記までご一報下さい。また、同意されなくとも全く不利益はありません。その他、不明な点がありましたらお知らせ下さい。

問い合わせ先：産婦人科　下屋　浩一郎
電子メール gyne@med.kawasaki-m.ac.jp
電話 086-462-1111　　ファックス 086-462-1199